

科目コード: 0100

科目名 1年 教養科目

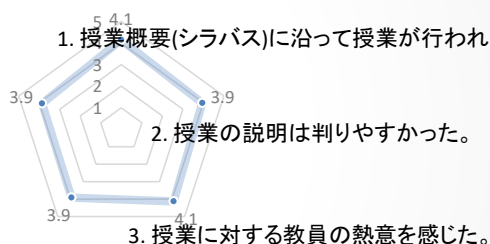
回答者数: 629 名

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	250	251	110	7	11	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	219	224	137	31	18	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	259	227	122	10	11	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	189	245	162	23	10	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	184	242	155	27	21	3.9
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが
4. あった。



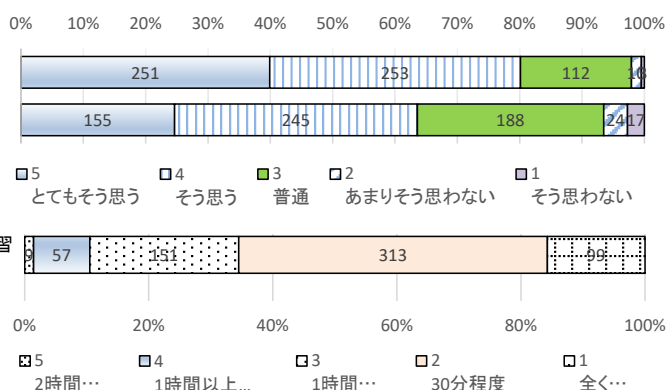
設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	251	253	112	10	3	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	155	245	188	24	17	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	9	57	151	313	99	2.3

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。



科目コード: 0101

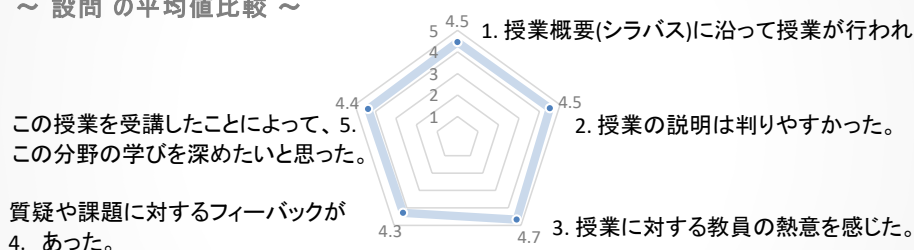
科目名 健康・スポーツ I

回答者数: 82 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 実技 担当者 古木竜太

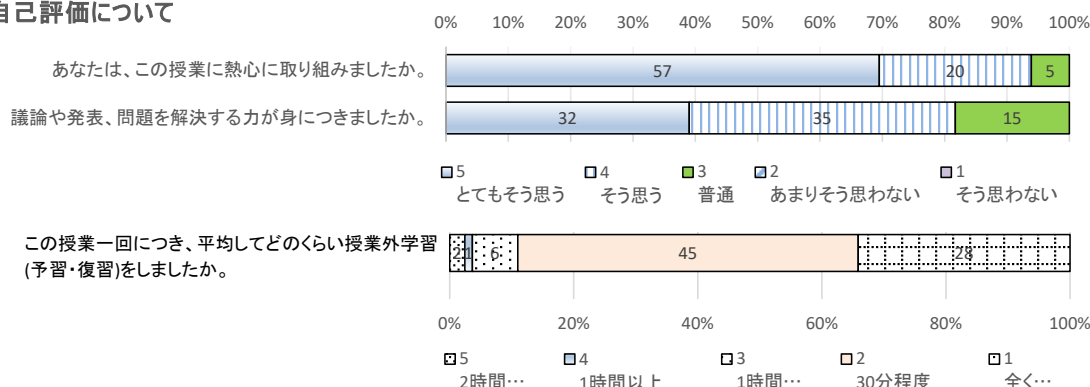
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	45	30	6	1	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	48	28	5	1	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	59	19	4	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	35	36	10	1	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	40	33	7	2	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	57	20	5	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	32	35	15	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	1	6	45	28	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

今年度は体育大会で実施予定のボッチャ、バレーボール、バドミントン、ダンス、卓球など、身体の接触が伴わない種目に取り組んだ。マスクを着用する時は、会話なしでディスタンスをとり、マスクを外して呼吸を整える、水分を補給することを心がけた。また、ラケットやボールを共用する時は手袋の着用、手指の消毒を徹底した。全15回の授業を通じて、体調不良を訴える学生はいなかった。

アンケートの設問 I・IIの結果をみると、最低値が4.2であることから、概ね高い評価が得られた。また、自由記述では、「改めて仲間と協力することの大切さコミュニケーションの大切さについて学び気づくことが出来ました。」「授業内でクラスの仲間とのコミュニケーションや協力し合うこと、支え合うことなど人との関わりを通してスポーツを行うことが出来ました。」など、コミュニケーションを深めることができたという記述内容が多かった。これは、運動・スポーツを通じて学生に学んで欲しい内容を学生に教えることができたと推察する。

②課題と展望(授業改善方策)

新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた授業を徹底した。何をどのように気をつけ、どのような内容で授業を行えば良いか、手探りであった昨年度に比べ、コロナ禍における体育授業のあり方について、ある程度の方向性を示すことができた振り返る。今後も授業内容の工夫と検討を重ねながら、学生が有意義に身体を動かし、運動・スポーツの大切さについて深く学べる授業を目指して努力したい。

科目コード: 0102

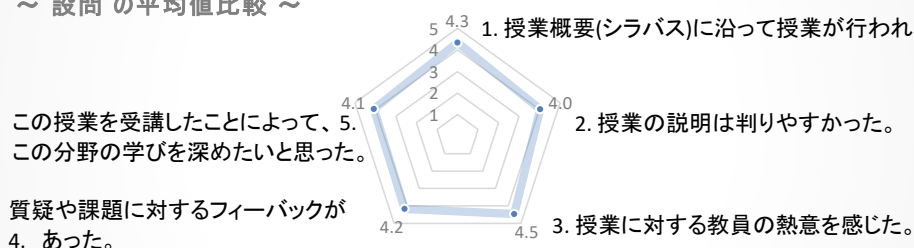
科目名 英語 I A

回答者数: 71 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 演習 担当者 江川澄男

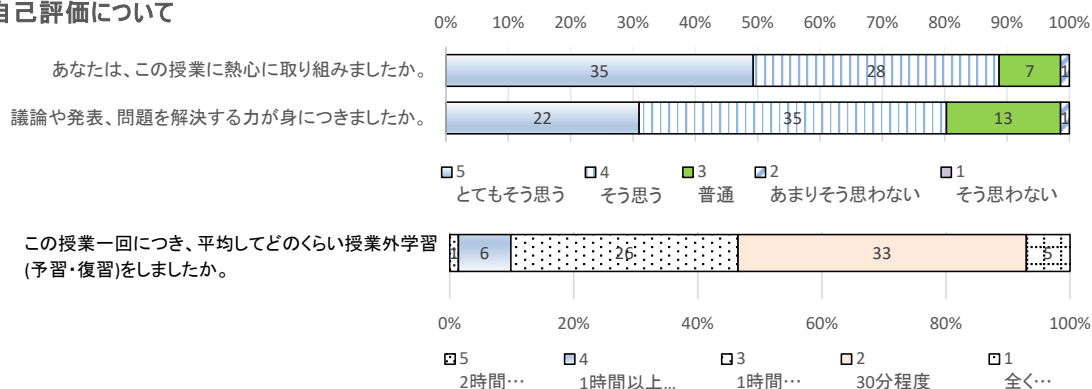
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	33	29	9	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	29	23	12	6	1	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	41	22	8	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	29	26	15	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	25	29	14	3	0	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	35	28	7	1	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	22	35	13	1	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	6	26	33	5	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

総平均が4.2(84%)、「議論や発表、問題解決能力の向上」4.1(82%)と、良好な結果であり嬉しく思う。特に、学生の「熱心に取り組みましたか」は4.4(88%)と申し分のない結果であり、日頃の真面目で活気のある授業態度や成績の良好さが反映されていると思う。課題としては、「説明が分かりやすかったか」で、2や1の評価に計7名いたことである。今後とも、学生の実態に即した教材作成や映像構成の改善を図っていききたい。また、一人一人の学生の疑問にも丁寧に答えていききたい。

②課題と展望(授業改善方策)

英語の授業は、4技能の活動「読む・書く・聞く・話す」が中心となるため、建設的で活気のある授業態度が不可欠である。また、コミュニケーション能力を養うには、日頃から身近な仲間との会話から向上させることが大切である。そのため、望ましい授業の雰囲気作りや、学習者の実態に即した分かり易い説明が重要である。今後は、これらの基本原則と学生の課題を踏まえ、改善策を工夫していききたい。

科目コード: 0103

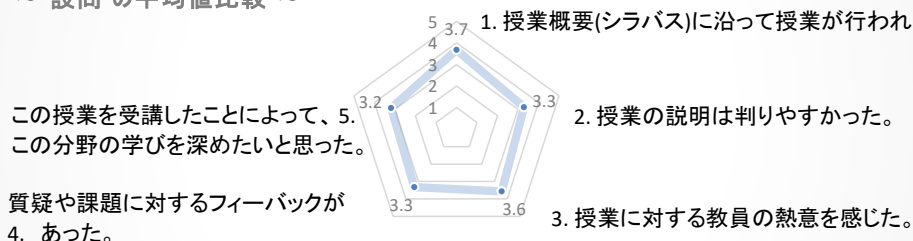
科目名 英語 I A

回答者数: 83 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 演習 担当者 大野満奈

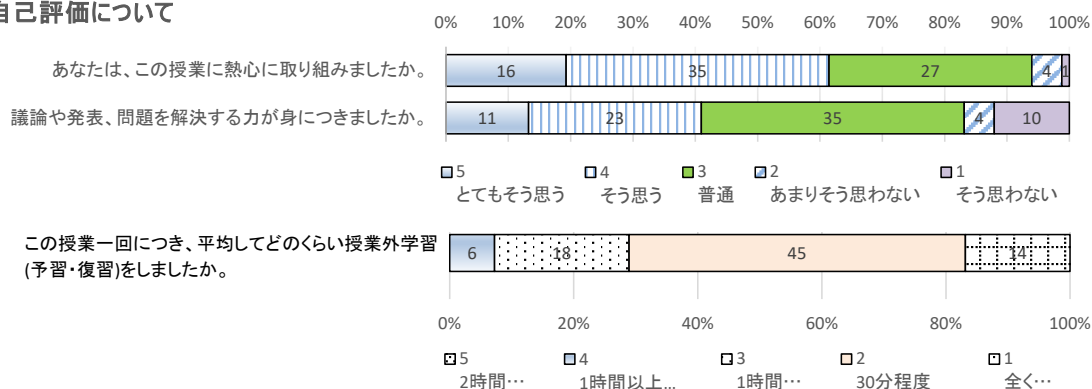
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	16	33	28	3	3	3.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	13	25	26	11	8	3.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	18	28	26	5	6	3.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	10	25	34	10	4	3.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	20	35	7	10	3.2
総平均							3.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	16	35	27	4	1	3.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	23	35	4	10	3.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	6	18	45	14	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

この授業に関する学びを深めたいと思わないと回答した学生が10名もいた。議論や発表、問題解決の力が身についたかに、そう思わない回答者が10名もいた。

②課題と展望(授業改善方策)

英語を嫌いな学生も多かったが、それを打開することが難しく、今回は英語嫌いを改善させることができなかった結果になったようである。次回からは、もっと楽しく英語を学べる創意工夫に努めたい。英語を発音し読むことができない学生が多く見受けられたため、学生の発表を避けて授業を進めた結果、議論や発表、問題解決の力が身につかなかったと感じた学生が多かったことを反省し、次回は練習の機会を与え、そのあとで発表と議論の場所を設けるように心がけたい。レベルに差があるため、英語の知識がある程度ある学生にも満足する授業ができるよう、バランスを見ながら授業を進めていきたい。ALTの先生のレッスンも取り入れ、受講者が英語に興味を持てるよう、またコミュニケーション能力を高められるように工夫していく。

科目コード: 0104

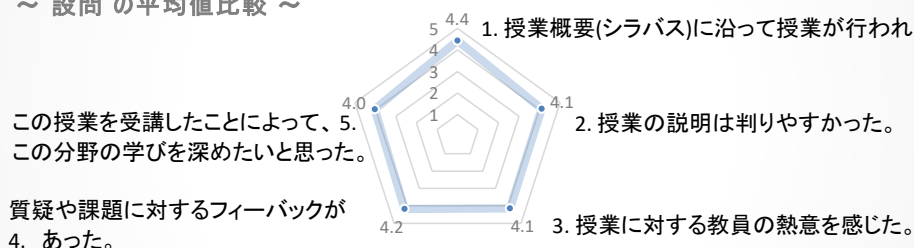
科目名 情報処理 I

回答者数: 98 名

学科・学年: 幼1年 授業形態: 実習 担当者 中平浩介

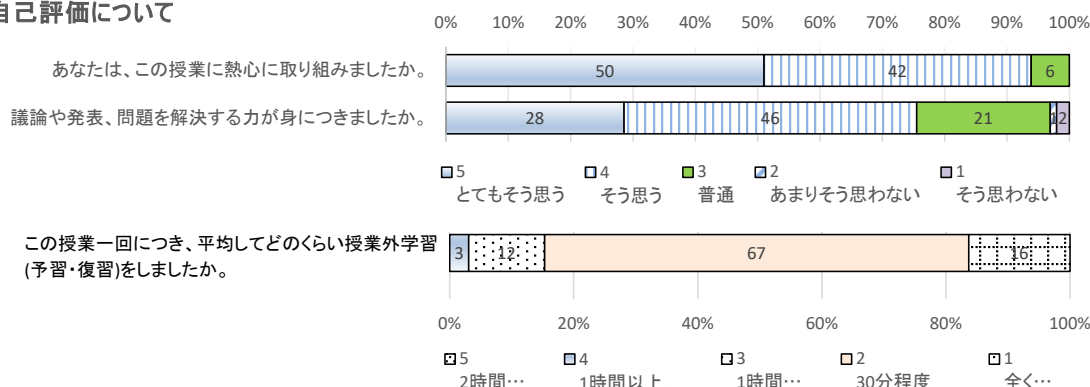
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	52	36	10	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	38	38	17	4	1	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	38	38	20	2	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	39	38	20	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	36	36	21	3	2	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	50	42	6	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	28	46	21	1	2	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間未 満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	12	67	16	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問1では(1)の「授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた」が平均4.4ポイントでもっとも評価が高かった。次に高かったのが、(4)で4.2ポイントであった。いずれの設問も4.0を超えており、総平均は4.2であった。昨年と比べると、総平均で0.1ポイント下がった。この科目ではOfficeに含まれるWord, Excel, PowerPoint及び情報セキュリティの知識を身に付けることを目標としている。また授業で使用しているweb教材は授業外での利用も可能であり、Officeを苦手と感じている学生にとって有効である。

②課題と展望(授業改善方策)

全体としてバランスがとれており総平均でも4.2といずれも4.0を超えている。また、授業への取り組みについて問うた設問IIの(1)では授業に熱心に取り組んだとの回答が平均で4.4あったにも関わらず(3)の授業時間外での学習時間について、全くしていないと回答した学生が16名おり、30分程度と答えた数を加えると80名を超えているのは残念な結果である。苦手とする項目を重点的に学習するためには自己学習が必須であるということを考えるとさらに課題学習の機会を増やすことも検討したい。今回も新型コロナウイルスの影響でポータルサイトを使つての課題学習が増えたわけであるが、他教科とのバランスもとつつ授業時間外学習の機会を設定していきたい。

科目コード: 0105

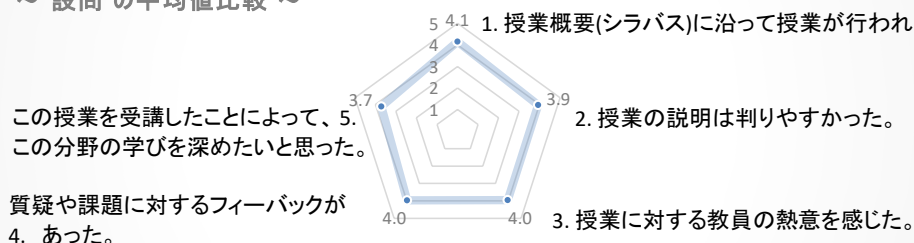
科目名 情報処理 I

回答者数: 87 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習 担当者 大野譲太郎

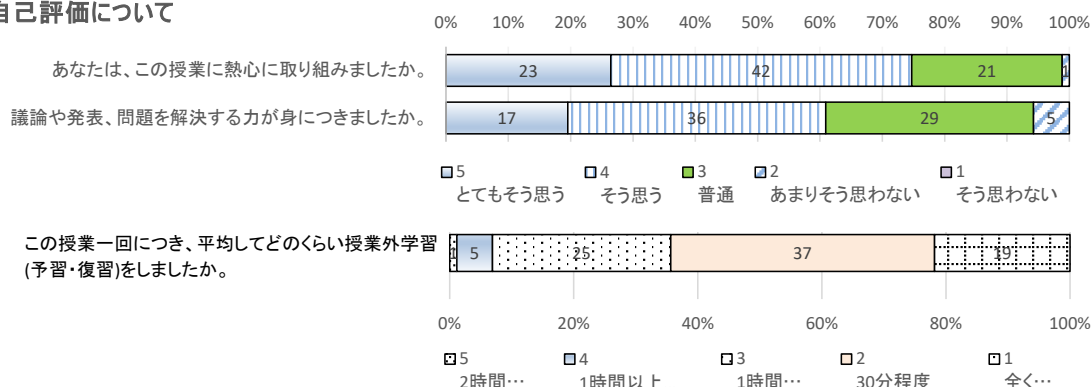
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	28	44	15	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	24	36	25	1	1	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	43	22	0	1	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	27	33	24	3	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	34	29	4	2	3.7
総平均							3.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	23	42	21	1	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	17	36	29	5	0	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	25	37	19	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問 II の(1)より設問 I の(5)並びに設問 II の(2)のほうが平均値が低いことから、授業に取り組む熱心さが情報処理の興味と問題解決能力に繋がらなかったことがわかる。

②課題と展望(授業改善方策)

情報処理 I は基礎的な情報処理能力の知識・技能を習得することが大きな目標の一つとなっているが、その達成のため広い範囲の課題を指示の通りこなす授業が多く、自ら考え解決していく機会を奪ってしまっていたため、①の現状が起きているのではと推察する。このことから、なじみやすく全体像が捉えやすい課題の作成や思考力を養う適度な教授法、個に合わせた柔軟な指導の研究が必要であるとする。近年では学生が協働して最適に学び働くうえで情報処理能力は必要不可欠であると考えているので、自らの可能性を実感できるような企業と連携するなど、より実践的な実習も取り入れていきたい。

科目コード: 0106

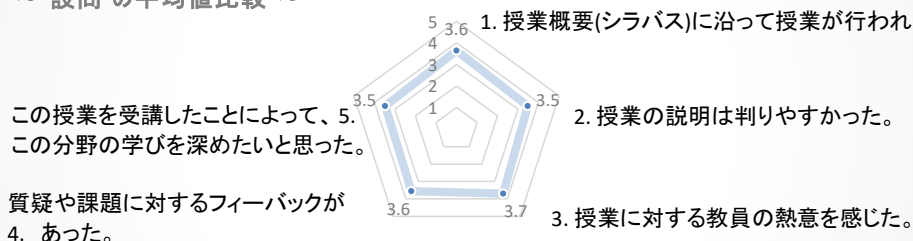
科目名 日本語と表現

回答者数: 36 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 講義 担当者 吉野寿一

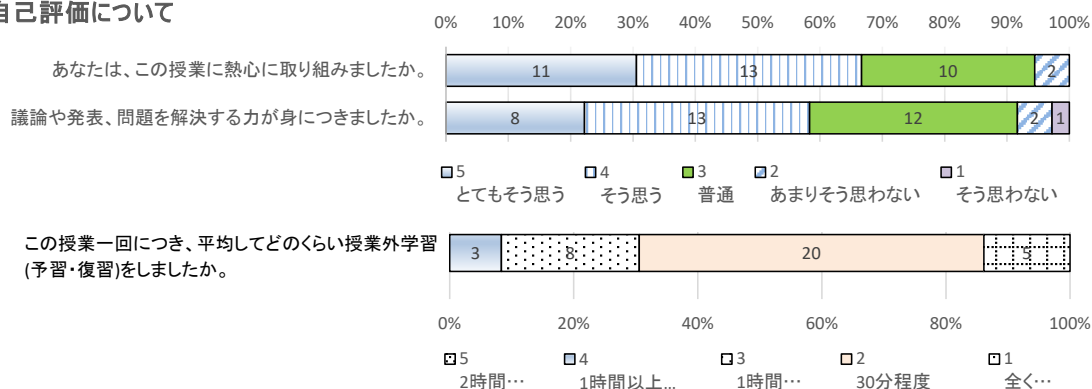
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	10	12	9	1	4	3.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	9	8	13	3	3	3.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	11	14	0	2	3.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	13	12	1	3	3.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	10	14	3	2	3.5
総平均							3.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	11	13	10	2	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	13	12	2	1	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	8	20	5	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

学生に対して、更に必要感がある講座にしなければならないと感じた。
 学生の自己評価が、普通を含め、9割近く「取り組んだ」と評価しているので、その意を更に、身に付いた実感できるようにしたいと感じた。

②課題と展望(授業改善方策)

授業外学習の平均時間が30分程度と少ないことを反省し、学習の定着を図るための、次へとつながる教材開発を進める必要性を感じた。
 演習形式を取り入れ授業を行ったことは、学生にとって有益だったので、継続していきたいが、知識等の定着が十分でなかったので、小テストを含め、定着の度合いを図るための工夫が必要であると感じている。

科目コード: 0107

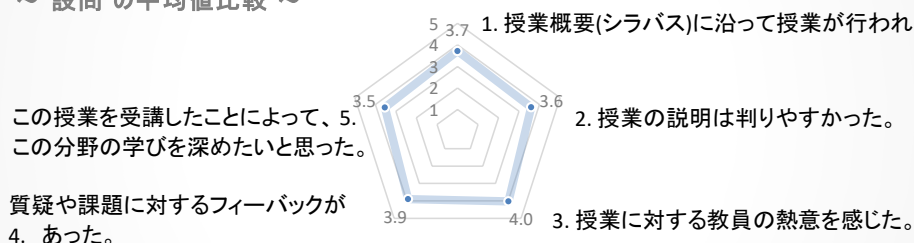
科目名 コミュニケーション論

回答者数: 39 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 講義 担当者 永杉徹夫

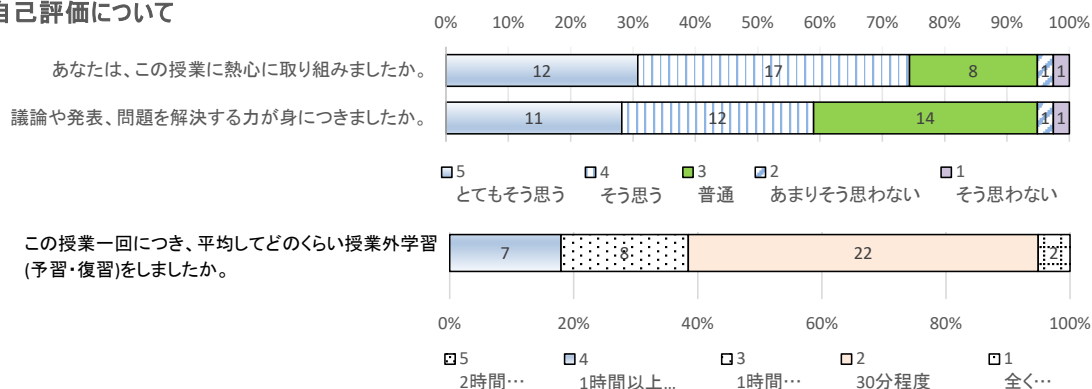
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	9	13	15	1	1	3.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	9	11	15	2	2	3.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	13	17	7	1	1	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	19	10	0	1	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	8	14	10	5	2	3.5
総平均							3.8

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	12	17	8	1	1	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	12	14	1	1	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	7	8	22	2	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

「授業の説明は分かりやすかった」に対する回答が平均の数字とさほど隔たりがなかったのが、意外だった。と言うのは、コロナ禍の下でコミュニケーション問題が強くクローズアップされ、その重要性が叫ばれているさ中の授業ゆえ可能な限り時事問題を取り上げ、分かりやすい授業にしたつもりであった。だが、その努力はやはりやや空回りしていたようだ。よりいっそう易しく、かみくだいて説くべきだったと反省している。

②課題と展望(授業改善方策)

コロナ禍中の学生たちにとって、想像以上の不安や悩みを背負いながらの受講だったはず。その分、やはり従来の学生とはかなり異なるものが感じられた。受講する姿勢に、かつてない真剣さ、熱意がみられたからである。だがその半面、投げやりな様子を見せる学生も数人いた。したがって成績は最高点を取る者とそうでない者との落差が従来より大きい結果となった。だが総じて、教える側の熱意に学生たちはよくついてきてくれた。本学生諸君の真面目さ、素直さを改めて強く感じた今回授業であった。したがって講師の課題として残るのは、一人も残さぬよう学習意欲のわく授業にすることである。また本来の授業時間に戻ったら、これまで以上に教員および学生間の対話時間を増やしたい。

科目コード: 0108

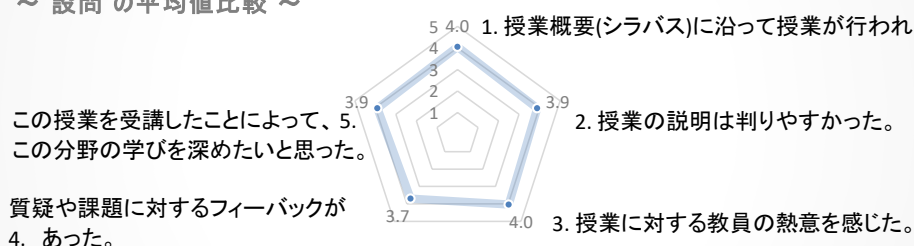
科目名 健康と栄養

回答者数: 62 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 講義 担当者 鈴木玉枝(他)

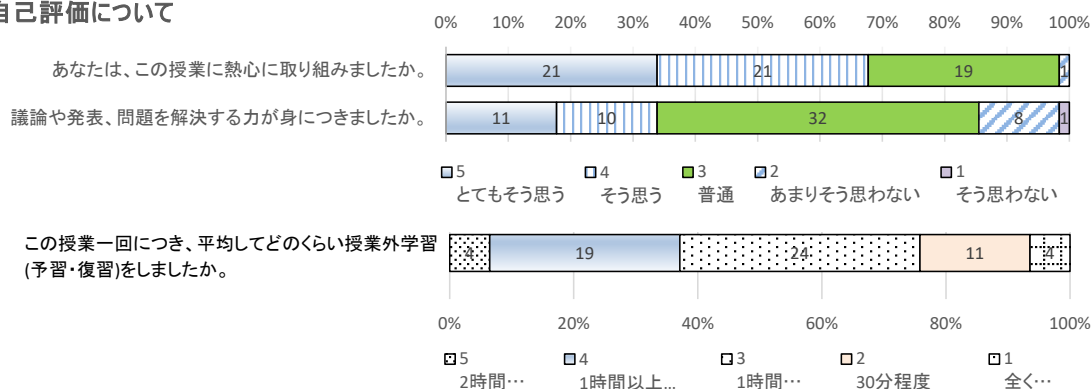
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	23	22	15	1	1	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	16	25	19	2	0	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	19	27	15	1	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	13	21	25	2	1	3.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	30	19	0	0	3.9
総平均							3.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	21	21	19	1	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	10	32	8	1	3.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	19	24	11	4	3.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

授業時間外の学習時間の確保が不足している学生が見受けられる。授業の振り返りを目的として課題を提示していたが、短時間の学生が見られたため、時間確保のための工夫が必要だと考えられます。

②課題と展望(授業改善方策)

課題内容をさらに振り返りしやすいような具体的な内容とし、学生自身にも取り組みを促すように致します。

科目コード: 0109

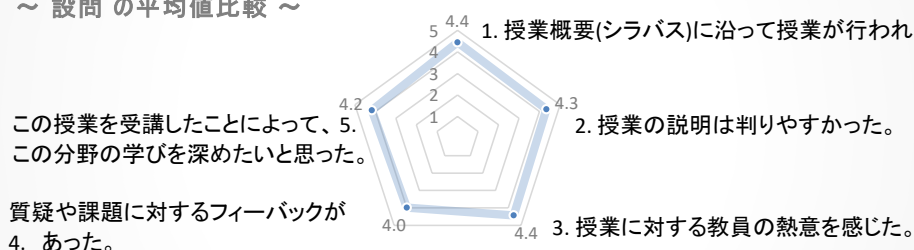
科目名 子どもと発達

回答者数: 63 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 講義 担当者 中村敏男(他)

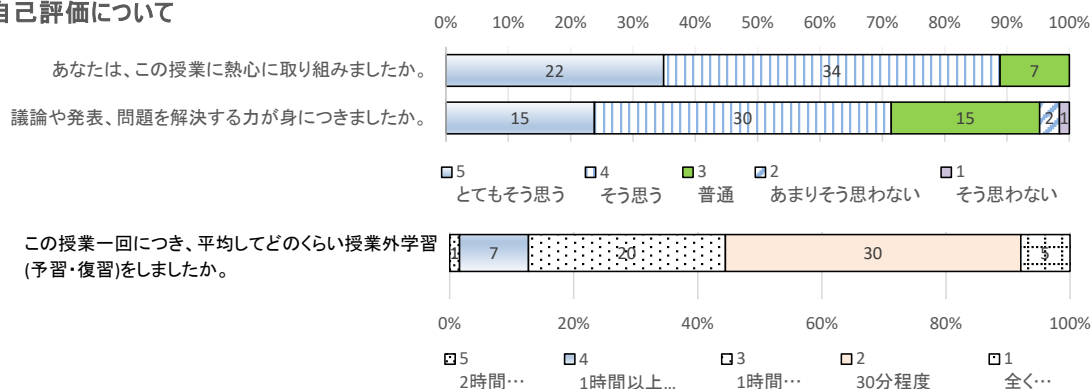
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	30	31	2	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	29	5	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	35	21	6	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	18	30	11	4	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	22	34	5	0	2	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	22	34	7	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	30	15	2	1	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	7	20	30	5	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

・全体の中では、授業に対するフィードバックに対する満足度がやや低いようだ。4名の担当がそれぞれの専門分野から「子どもと発達」について授業を展開したが、評価方法と併せて、それぞれの授業のフィードバックの方法について、さらに情報を共有していく必要がある。

②課題と展望(授業改善方策)

・今後、担当教員の専門性を活かしつつ、授業外学習、フィードバックの方法、問題解決能力の向上といった部分について、科目全体としての授業展開の方法をさらに検討していく必要がある。

科目コード: 0110

科目名 ボランティア論

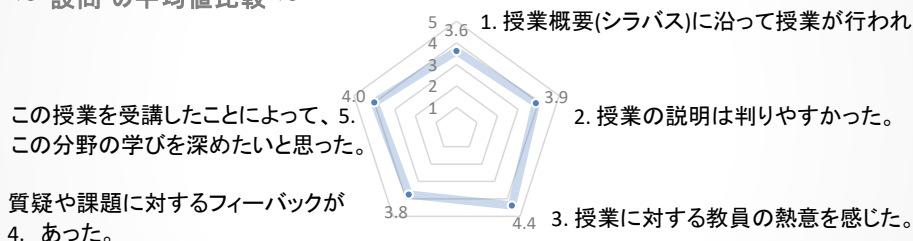
回答者数: 8 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 講義

担当者 武内道郎

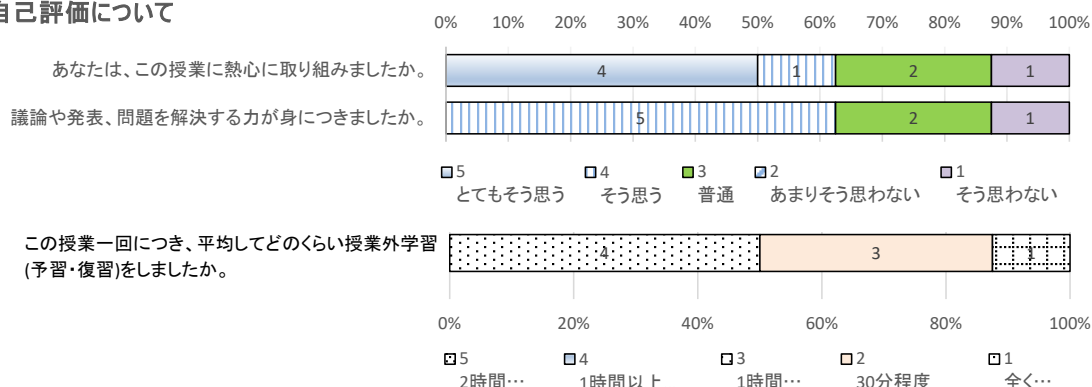
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	1	1	0	2	3.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	1	0	0	2	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	1	0	0	1	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	4	1	0	1	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	2	1	0	1	4.0
総平均							3.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	1	2	0	1	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	0	5	2	0	1	3.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	4	3	1	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

11名の講座で両学科、1・2年生が混じった木曜日5限目の授業である。コロナ禍で60分の短縮で、シラバスで予告した内容に基づき、SDGsの視点も加えて、毎回A3両面の資料を作成した。内容が、規模の大きな話になり、一方的な講義となってしまった。地球規模での大事な話ではあるが、学生にとっては、身近な話題ではなかったかもしれない。感染防止のため、グループ協議などが難しく、形式が単調になった。30分課題に対するコメントももう少し取り上げたかった。

②課題と展望(授業改善方策)

ボランティアに関する基礎知識を踏まえつつ、深く考えさせる時間、意見交換をする時間を確保したい。毎回の30分課題では、ボランティア活動の抱える課題、問題点に対する意見を求めた。それらを共有し、学習を深める時間がなかった。最終回に実施したアンケートで、「ボランティアに興味あり」「やってみようか」には多くの学生が前向きに答えていた。考査の代わりに実施したのは、地元の様々なボランティア活動の募集内容の調査であった。地元の社会福祉協議会などを訪ねるなどして、足で調べて欲しいが、ネットの情報をまとめたものの学生が大半であった。残念であった。

科目コード: 0200

科目名 2年 教養科目

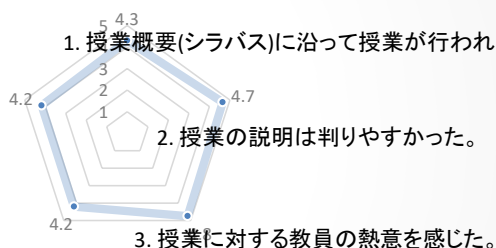
回答者数: 40 名

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	22	13	2	1	2	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	29	10	0	0	1	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	34	4	1	0	1	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	19	14	5	0	2	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	17	17	3	2	1	4.2
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが
4. あった。



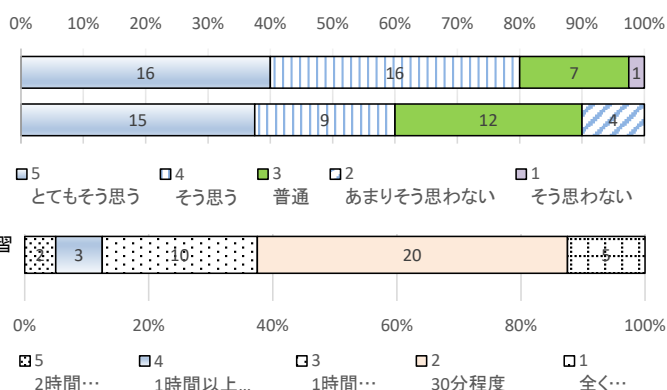
設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	16	16	7	0	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	9	12	4	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	10	20	5	2.4

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。



科目コード: 0201

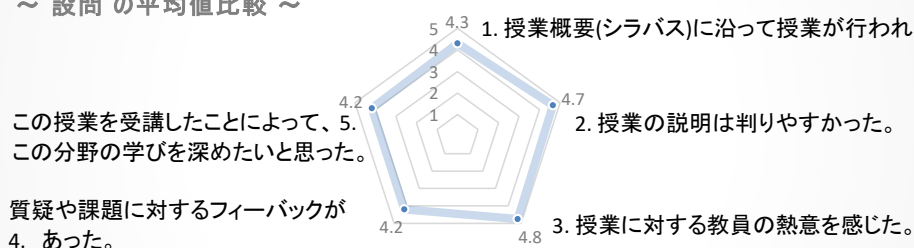
科目名 埼玉学

回答者数: 40 名

学科・学年: 2年生 授業形態: 講義 担当者 武内道郎

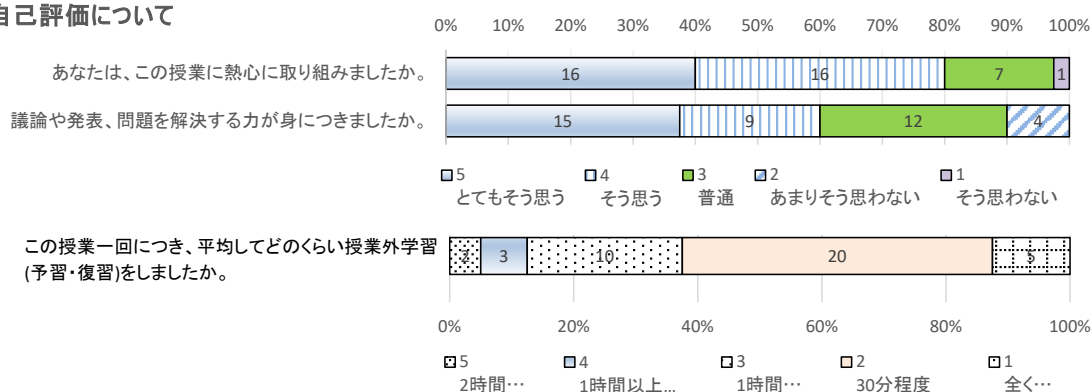
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	22	13	2	1	2	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	29	10	0	0	1	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	34	4	1	0	1	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	19	14	5	0	2	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	17	17	3	2	1	4.2
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	16	16	7	0	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	9	12	4	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	10	20	5	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

56名という大人数での講座で、私も今年度初めて担当したため、教材を準備しながらの講座となった。概ね良好な評価をいただいたが、コロナ禍で60分の短縮となり、感染防止もあってグループ協議など難しく、一方的な講義となってしまった。30分課題は、学生によっては、ほんの数行の記述で、提出しただけの者もあった。中には、詳細に記述する者もあった。毎回、自分の知る埼玉豆知識を報告させ、全体の前で情報共有した。

②課題と展望(授業改善方策)

渋沢栄一の大河ドラマ、1万円札登場など、何かと話題になっている埼玉県であるが、県民性はやや自虐傾向にあり、県民愛に乏しいと感じている。学生に親しみやすい漫画や映画、観光、食などの話題を大量に盛り込んで、毎回A3両面の資料を配布し、動画も含めたパワーポイントの資料も充実させた。最終的にテストを実施せず、代わりに自分の出身市町について調べてまとめさせた。数人に発表させたことで、地元を知るきっかけとなったと思う。楽しい話題から学生同士が盛り上がり、私語が収まらないケースもあり、真面目な学生には不評であった。今後は、埼玉県の課題を捉えて、その改善策を話し合うなど、学びを深める講座を目指したい。仕方ない部分はあるが、金曜5限目は、直前の4限目授業がなく待っている学生も多いため。